

幌別西だより

令和3年1月15日

第12号

＜教育目標＞

心豊かでたくましく生きぬく
実践力のある人間の育成

登別市立幌別西小学校

TEL : 0143-85-2364

FAX : 0143-85-2025

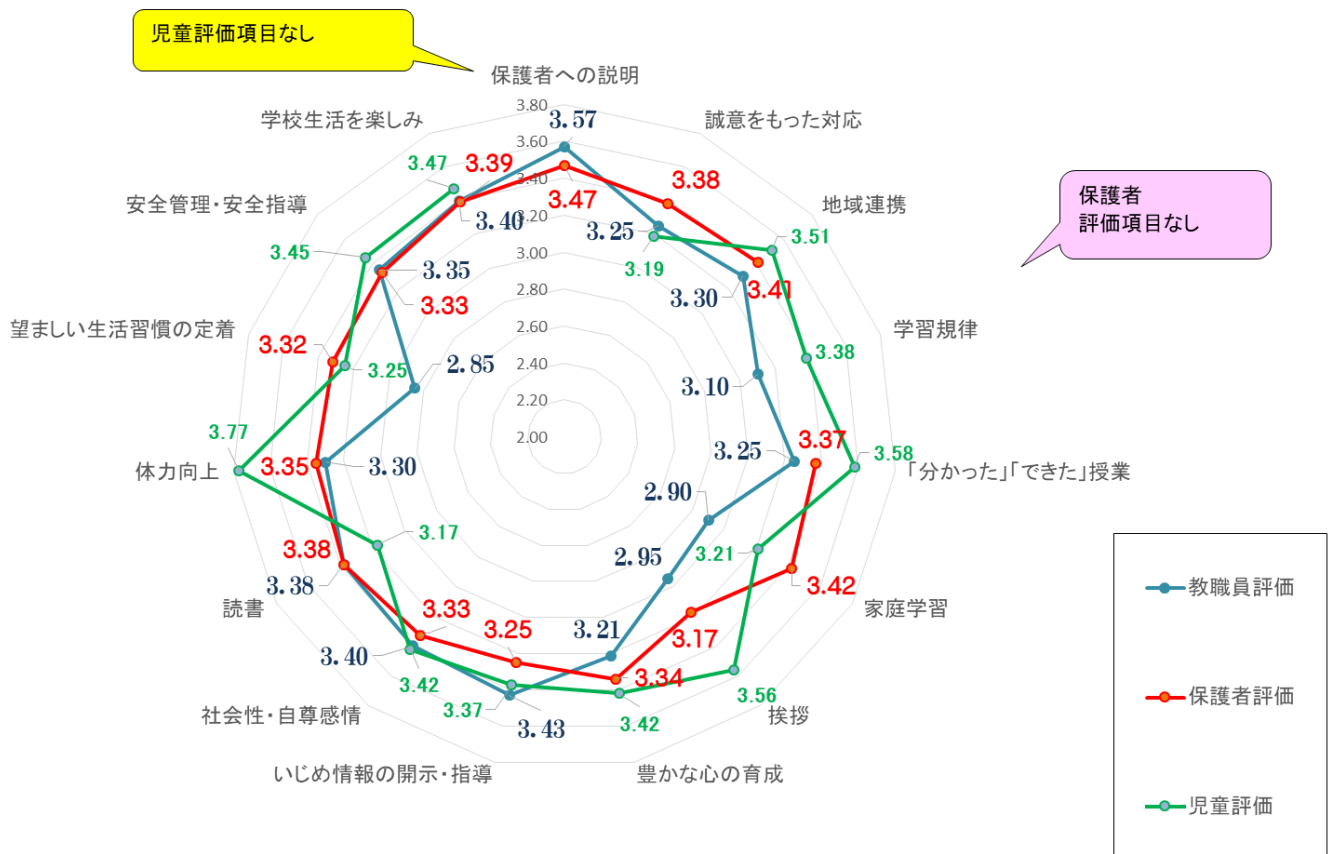
学校評価へのご協力ありがとうございました。

12月にご協力いただいた学校評価アンケートの集計が終わりました。「あてはまる」「だいたい」と回答している方の割合が80%を超え、おおむね良好な結果となりました。記述部分については、いただいたご意見は原則全員分掲載するとともに、全てにはありませんが、前回同様、学校としての考え方も述べさせていただきました。

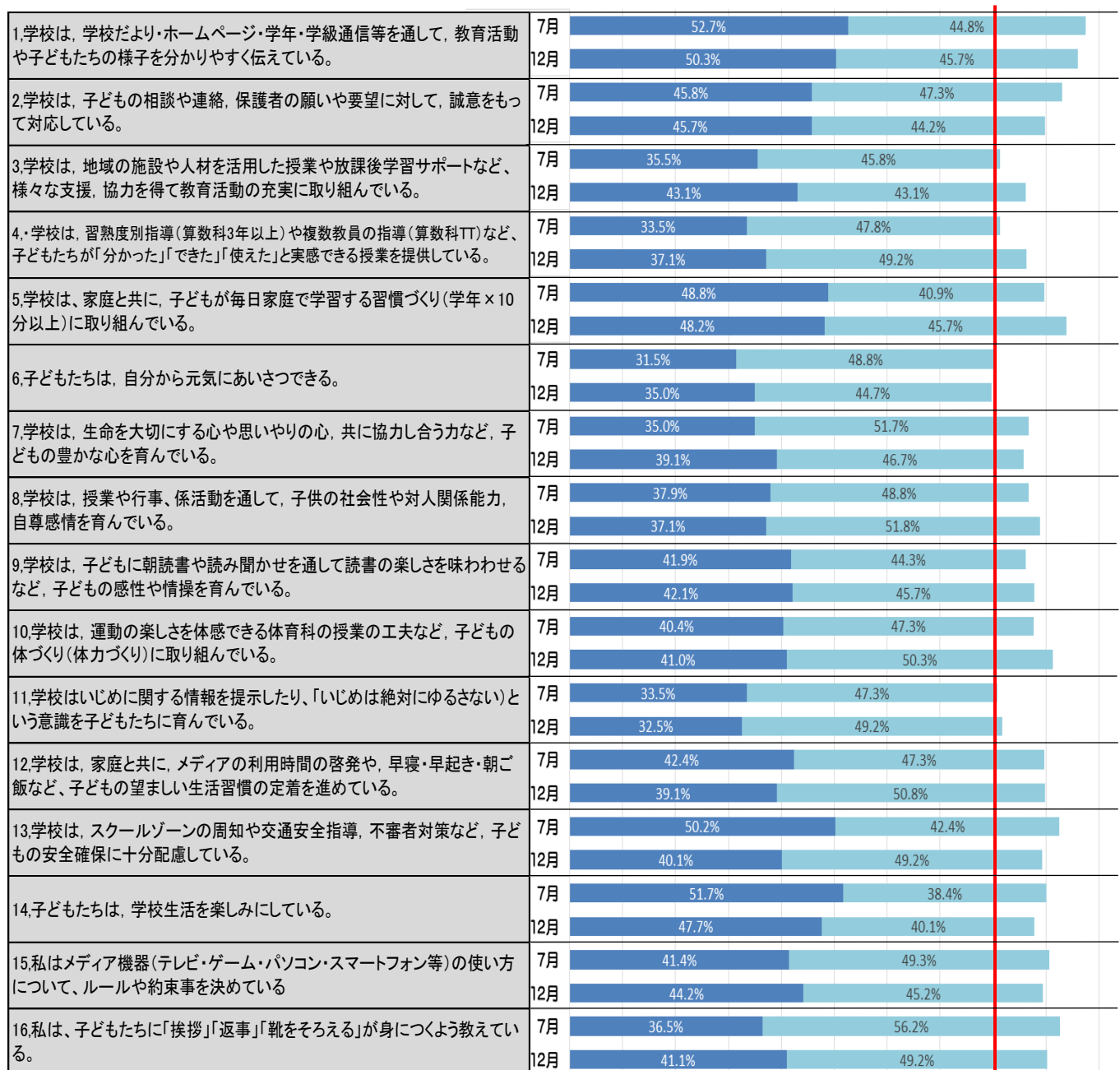
いただいたご意見は校内で共有するとともに改善すべきところは、次年度の教育活動に生かしてまいります。

ご協力ありがとうございました。

令和2年度12月 学校評価三者比較



7月と12月の保護者アンケート評価の比較



0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

■あてはまる ■だいたい

肯定的評価 90%以上が①保護者への説明、⑤家庭学習、⑩体力づくり、⑯家庭で挨拶・返事・靴の4項目となりました。

また、7月期よりも高評価となったのは、③地域連携、④「分かった」「できた」授業、⑤家庭学習、⑧社会性、自尊心、⑨読書、⑩体力づくり、⑫いじめ情報の開示・指導、⑫生活習慣の8項目でした。

3学期及び次年度の課題は、80%を割っている⑥元気な挨拶だと捉え、学校でも力を入れて指導していきたいと考えており、校内で「挨拶は、よりよい人間関係を構築する上で大切なものであることから、子供たちに粘り強く指導していこう」と共通理解を図ったところです。学校も含めてすべての大人が子供たちに対して挨拶の大切さを教えることが重要であることから、ご家庭でのお力添えも欠かせません。改めて保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

12月実施学校評価 保護者アンケート記述一覧

◎よいと思われるところ

【情報発信について】

- ・学校だよりやホームページ、学年通信や学級通信で子供たちの活動の様子や頑張っている様子を分かりやすく伝えてくださりとても感謝している。
- ・ホームページや学級通信で子供の様子などが分かりやすくて助かっている。
- ・クラスだよりで普段の子供の様子がとてもよく分かり細かくお知らせしてくれるので助かっている。感謝している。

【学習指導について】

- ・宿題がプリントではなく、ノートになったことで大変かなと思っていたが、毎日自分で工夫して勉強し「やらされている」から「自分のため」に勉強するんだという気持ちが芽生えてきたように思う。
- ・宿題以外の家庭学習を行い、回数によって表彰をしてくれて子供たちも目標ができてよいと思う。
- ・家庭学習など、自ら学ぶ力が付くような取組がよい。
- ・メダルのおかげで毎日家庭学習に取り組むようになった。家庭学習の確認、小テスト、プリント丸付けだけでも膨大な仕事量だと思います。いつも感謝している。
- ・かけ算の九九でレベルアップするごとに認定証のカードを作ってくださいるので、子供もやる気が出て頑張っ て取り組むことができた。
- ・習熟度別指導は効果的な方法だと思う。
- ・習熟度別指導はとてもよい活動だと思うので、今後も継続してほしい。
- ・習熟度別指導はクラスを本人が決め、自分に合った学習ができ良いと思う。
- ・習熟度別指導で自分に合ったペースで学習できることがとても良いと思う。
- ・中学校で英語を教えていた吉井先生が指導に来てくださっているようで海外経験も豊富なことから、より学べる力が身に付くのではないかと期待している。
- ・英語の授業で親向けに出されるプリントが分かりやすくてよいと思う。学習した内容、できるようになること等記載してくれているので、親も子供に聞きやすい。他の教科もお願いしたい。
- ・英語への取組
- ・朝読書のおかげで、本を買う習慣ができたが、最近では本屋で自分が読みたい本を選べるようになってきた。とても良いことだと思っている。
- ・地域ならではの施設等や歴史を学ぶ機会があるのは素晴らしいことと思う。
- ・学年ごとに社会科見学や校区外での活動など、地域の特性を生かしたことができる点。
- ・性教育について、しっかりとやってくれていて素晴らしいと思う。家庭でも話ができるようなきっかけも与えてくれてうれしい。

【生徒指導・生活指導について】

- ・先日行われた児童引き渡し訓練もいざというときにとても大事なので、今後も継続してほしい。
- ・学年関係なく、元気で明るい雰囲気の良さを感じる。
- ・公園で会ったりする高学年の子達は礼儀正しいなどと思う。挨拶ができる子が多い。

【体育・体力向上について】

- ・縄跳びで前跳び以外にも技を取り入れていたのと級を作って課題をクリアしたら次の目標が何か分かりやすかったので、子供が興味をもてたのが良かった。
- ・コロナで、体力低下が気になっていたが、縄跳びもやっていただき、ありがたかった。休み時間や体育で全身を動かしてたくさん遊んでほしい。
- ・先生も子供と一緒に休み時間を利用して遊ぶところは良いと思う。
- ・担任の先生が休み時間に一緒にスポーツなどに参加してくれ、積極的にコミュニケーションをとってくれるところが良い。
- ・チャレンジクラブにおいて、子供たちに運動させる機会を与え、いろいろなスポーツに挑戦できるから。

【学校全般・教職員の指導等について】

- ・今年コロナ禍により先生方の対応も大変だったと思うが、どの場面においてもすべてにおいて早く対処してくれたと感じている。校長先生をはじめ先生方に感謝している。
- ・子供が楽しそうなので、良い指導をされていると思う。感謝申し上げる。
- ・相談があるとどの先生方も親切に対応してくださり感謝している。
- ・先生方が一生懸命。
- ・先生方が一生懸命だと思う。いつも感謝している。
- ・子供の個性、学習能力等を考慮していること。
- ・先生方みなさんが、児童に向き合って話をしてくれている。
- ・休み時間、前庭で先生も含めて学年関係なく遊んでいる姿を見ていいと思う。
- ・子供の状況に合わせて通常学級、支援学級の両方で対応していただけることは良いと思う。
- ・クラス全体がとても仲良く感じられる。いつも子供達のためにちゃんと指導してくれているおかげだと感じている。休み時間一緒に関わってくれるので、そこも何時も楽しそうに話してくれている。

◎さらなる充実や改善を望むところ

【生徒指導・安全指導・安全確保について】

- ・校区内の不審者情報は親も理解したほうがよい。新聞に載っていたので、分かるかもしれないが、以前のように一斉メールした方が良いのではないかな。
- ・引き渡し訓練を初めて行ったが、保護者側の身分証明等はしなくてもよかったのか。引き渡す際、もう少し注意点があるように思える。
- ・避難訓練は夏に行われたが、当日は熱中症の危険が非常に高い日だった。雨天中止の訓練ならば、晴れていても屋外の活動が危険な日は中止にすべきだったと思う。
- ・学校から何度もスクールゾーンについてのおたよりがあるのに、なかなか車両進入が減っていないように感じる。子供たちの登下校の安全を守るため対策が必要だと思う。
- ・スクールゾーンでの時間内での車両違反がなくならないため、子供の安全が心配である。
- ・スクールゾーンに進入して送迎している車がいる。道も狭く、危ないので行事ごとにスクールゾーン進入禁止等の紙を配るのではなく、定期的に通知してほしい。
- ・礼儀作法

- ・不審者情報については、「各種関係機関の情報を総合的に把握し正確な情報発信をすることがあることから、発信に遅延が発生することもあり得ます」と7月評価でもお伝えしたところです。また、「不審者情報があった場合は、まずは警察（110番）へ情報提供を」と警察より繰り返し指導されておりますので、保護者の皆様のご協力をお願いします。
- ・スクールゾーンへの進入への対応については、7月評価結果に記載したとおり、進入してきた車両（保護者）に対して、進入しないように4月当初に配付した文書を改めて直接手渡して進入しないよう、数回お願いをしてきました。その結果、児童玄関前までの進入車両は平均約1.5件と減少してきています。しかし、教職員駐車場までの送迎が増えてきており、学校付近のスクールゾーン進入や通学路での危険運転等が見かけられます。スクールゾーンに駐車できないよう、運動会時のようにコーンを設置したり、警察へパトロールを要請したりすることを検討します。また、保護者のみなさまお一人お一人に、スクールゾーン外での乗り降りや通学路での安全運転へのご協力を、そして皆様の良心に基づく行動を改めてお願いいたします。

【学習活動について】

- ・教育を受ける子供たちが意欲的に取り組める楽しい授業を行っていただけることを願っている。
- ・家庭学習のアイデアやポイントなど、例を分かりやすく挙げていただけると親子での取組がしやすくなるのではないかと思います。
- ・英検 Jr. 学校版の案内がほしい。学校でも受けられると聞き、案内があればいいなと思った。
- ・プログラミングや英語等の新しく始まる教育について、どんなことをしているのか家庭でも知りたいのでおたより等で教えてほしい。
- ・家庭学習強調週間は、普段毎日取り組んでいない子も頑張っていてよいと思う。
- ・タブレット授業、期待している。

- ・毎年4月から5月にかけてお渡ししている「家庭学習の手引き」に家庭学習のアイデアやポイントなどを追記しながら、**使いやすくて家庭の参考になる「手引き」を作成したいと考えています。**
- ・英検 Jr. の学校開催については、今年度から本校及び幌別小、幌別東小で試行的に実施されるものです。なお、登別市では、**昨年度から市内小学校4年生全員を対象に「英検 Jr. ブロンズクラス」を受検する試みが実施**されています。

【体育・体力づくりについて】

- ・外で体力づくりになるような活動があるとよい。
- ・もう少し体を使って体力をつけてほしい。
- ・コロナ休校により特例だったかもしれないが、体力アップ(?)のために、突然マラソンをさせるのはどうかと思った。しかも実施したのが運動会前だった。やるならぜひコツコツやってほしい。
- ・持久走記録会を復活させてほしい。
- ・チャレンジクラブを通じて自分に合うスポーツが見つかりそれをクラブ活動として行えるようにしてほしい。昔のように子供たちがたくさんいるわけでないけど、部活みたくできる環境を少しずつ考えてほしい。バレーボールは室蘭地区しかないため、登別地区にも作れたらなあと思う。
- ・学校でも感染予防対策をしていただいていると思うが、先月学校へ行った際、子供たちが休み時間、トイレの前の廊下に教科書をボンとそのまま置いてトイレへ行っているのが気になった。衛生面的にトイレ廊下前に棚などを置いたほうがよいと思う。

- ・コロナ禍であることを踏まえ、今年度は「短縄」の取組を年間通して充実させることで体力の向上を図ってきたところです。この他に子供たちは、休み時間に「前庭での鬼ごっこ」「鉄棒」「サッカー等のボール運動」などをしながら体を動かしています。この様子を見ていて、同じお子さんばかりを見かけたのが気になったところです。**「全校全員」や「クラス全員」で体を動かして何かをする機会を設けるなど工夫しながら304人全員の体力向上できるよう取り組んでいきます。**
- ・持久走記録会を廃止した理由は、①持久走は、教育の根幹をなす「学習指導要領」に記載されていない活動であること、②子供たちへの負荷が大きく、救急搬送等のリスクが高いこと、③子供たちの安全確保や意欲付のために休み時間等の練習から、担任のほか、多くの教職員が動員され、練習に参加しない児童に対する教職員の目が行き届きづらくなること、つまり**「全児童の安全確保」のため**です。
- ・学校としては、**スクール・サポート・スタッフ等による校舎内の消毒作業に加え、子供達には手指の手洗いや消毒等を繰り返し指導しながら感染予防に努めている**ところですが、ご指摘のあった点についても子供たちに注意を促しながら、さらなる感染防止に努めてまいります。

【教育活動全般について】

- ・コロナ禍で、国からの文書のプリントの配布はあった（コロナに感染するのは悪くない等）。家庭でも感染した人は悪くないし、仲間はずれになるのはおかしいなど話はしているが、今後もコロナは長引くことも考えられ、身近に感染がいつ起きてもおかしくないため、学校の方からも教育は必要になってくるのではないかなと思う。
- ・コロナで直接学校に行く機会がまだないので、これから楽しみにしている。
- ・今年はコロナで参観日がなく、子供たちの学校での様子が分からないので、せめて懇談会だけでもしてほしい。例年参加者は多くないので、出欠をとったうえで行えば密にならずにできると思う。先生と保護者のコミュニケーションや保護者同士の情報交換は今だからこそ必要だと思う。どうかお願いしたい。担任の先生の考え等を知りたい。
- ・今年度は1学期に個人懇談があり、子供の様子を知ることができたが、2学期は学級懇談に代わるものもなく、先生の考えや指導について話を聞いたり他の保護者との情報交換もできたりしていないので、3学期にはぜひ学級懇談を実施してほしい。いつも欠かさず懇談会に出席していたが、毎回多くても7、8人の保護者しか出席していない状態なので、密になる心配もないと思う。あらかじめアンケートを採るなどすれば、出席人数も把握できるはず。検討いただきたい。
- ・コロナ禍で大変ではあるが、学校・担任と家庭・保護者とのコミュニケーションも大事だと思う。
- ・コロナで学校での様子が見られないことが残念である。HPやおたよりの写真を楽しみにしているので、これからもたくさん載せてほしい。
- ・コロナの影響で十分な教育活動ができないのは理解できるので、コロナで参観日が中止になったり午前授業の変更等、年間行事予定と違う場合は連絡してもらえると助かる。
- ・参観できないのは正直寂しいので、授業の動画配信などをしてほしい。どのように授業をしているのかを知っている方が家庭の学習にも役立つ。
- ・まだ行事等に参加が難しいようであれば、Zoomなどを通じた授業参観や行事中継などを行ってほしい。Zoomは会費を払えば参加者を管理できるので、市教委などが支払いをすればプライバシー保護なども可能だと思う。
- ・今年はコロナ感染リスクがあり、参観日、縄跳び大会の参観機会がなくなり残念な年となった。3学期は、学校の様子（授業の様子）を見られる機会があったらうれしい。
- ・小学校と児童クラブとの連携がなされれば、より子供の成長につながると思う。
- ・写真をネット販売していただき、すごく良かった。これからも続けてほしい。また家族が見られない行事等の販売もしていただけたらうれしい。
- ・コロナで大変な中、今以上の改善は望んでいない。いつも感謝している。
- ・学級通信にちゃんとできていない子のノートを載せる必要はないと思う。せめて指導して直すなりして、ちゃんとできたものを載せたほうがよいと思う。
- ・運動会の紅白リレーの選手決定において、クラスで一度正式発表があったのに発表後選手変更があった。「怪我をしていた子が発表後に走れるようになって」ということだったようだが、選ばれていたのになれなかった子は悲しい思いをしたと思う。今後はこのようなことにならないように、発表についてはもっと慎重になってほしい。特別扱いしていると子供同士のトラブルにもつながることだったと思う。
- ・子供同士のトラブルがあった時に、片側だけの話を聞いてもう片方に一方的に謝らせることがあった。次の日に子供から先生に話して、分かってもらい子どもも納得したようだが、はじめから両方の話をきちんと聞いてから指導してほしい。時間がないときには、その場でとりあえず謝らせるのではなく、後でも両方の話を聞いてから指導してほしい。でないと、子供は納得できない気持ちを抱えたまま過ごすことになるので、お願いしたい。
- ・各クラスで家庭学習のきまりが違うので統一してほしい。あるクラスは「ノート見開き1ページ」、別のクラスは「ノートなら見開き1ページ、ドリルなら見開き2ページ」のよう。ノート学習が大切なのは分かるが、ドリルは一切認めないというのは理解できない。ドリルでテストのための学習をして100点をとったときに、「努力しないで実力だけで取った点数だから中学行ったらどんどん成績下がるぞ」というようなことを言われたそう。ノート学習で100点の子は「努力の結果だな」と褒められたそう。学習もしていたし、100点なのに怒られたと感じた子供は納得できない様子だった。

- ・今の教育活動が推進できるのは、いつもご家庭で感染予防に努めてくださっている保護者の皆様のご理解とご協力の賜物です。しかし、いくら「かからない・うつさない」ための取組を徹底しても感染リスクをゼロにすることはできません。学校では、感染リスクと正しく向き合って感染防止に努めるとともに、感染者や濃厚接触者等とそのご家族に対する誤解や偏見に基づく差別を行わないように指導を繰り返しているところです。皆様の周りで、感染した個人を特定したり、ご家族に疑いを向けたりするなど、差別や偏見、誹謗中傷につながる言葉や行動を知ったときには、決して同調せず、そのようなことが起きないようにお力をお貸しください。「百聞は一見に如かず」という言葉のとおり、まずは、大人一人一人子供たちに正しい行動、望ましい言葉かけを示す必要があると考えます。
- ・「三つの密を防ぐ必要がある」ことから、授業をはじめ、学校での子供たちの様子をお見せできない現状を大変申し訳なく思っております。このような状況ではありますが、2月22、24、25日の3日間に分けて、学年ごとの学習発表集会（保護者参観）を計画していることは以前お伝えしたところですが、加えて、学習発表集会後に「学年懇談会」も併せて実施するよう、現在計画しております。詳細が決まりましたら追ってお知らせいたします。
- ・また、お子さんのことや学級のことや担任と話したい場合は、いつでも対応いたしますので、お気軽に学校までご連絡ください。（お待ちしております！）